



平成 28 年 9 月 16-13

新規受託項目

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白

記

項 目 名

●アレルギー特異的IgE (MAST36) (依頼コード No. 11458)

受託開始日 2016年10月1日(土) 受付分より

従来より少量の血液で、33種アレルギーに対する特異的IgEが検出できるMAST-33を受託しております。今回、新たに3アレルギー(トマト、モモ、アスペルギルス)を追加したMAST36の受託を開始いたします。

トマト、モモを追加したことで、近年増えているOAS(oral allergy syndrome; 口腔アレルギー症候群)-PFS(pollen-associated food allergy syndrome; 花粉関連食物アレルギー症候群)と関連する野菜・果物の項目が充実しました。また、アスペルギルスは、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症の原因となるアレルギーです。

アレルギー疾患における原因アレルギーのスクリーニング検査法としてより有用となっております。

なお、当該検査の受託開始に伴い、現行のMAST-33(依頼コードNo. 4721)は2016年9月30日(金)受付分をもちまして検査受託を中止させていただきます。

裏面につづきます



より正確に！
より迅速に！
地域に密着した検査体制

登録衛生検査所
一般社団法人
岐阜市医師会臨床検査センター
電話 058-255-1040

受託要領

依頼（報告）コード No.	MAST36 (親11458 子21815～21850)
統一コード	5A100-2807-023-052
検体必要量	血清 0.5mL
容器	① → S-1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	4～6
検査方法	CLEIA法
基準値	1.39 以下 (MASTクラス:0)
単位	LC (ルミカウント)
報告範囲	LC(ルミカウント): 0.00～200以上 (MASTクラス: クラス0～クラス6)
報告桁数	小数第2位
検査実施料/判断料	1430点/144点(免疫学的検査)

●【チャート出力順および報告(子)コードNo.一覧】

アレルゲン名	子コードNo.
オオアワガエリ	21815
カモガヤ	21816
ブタクサ混合物I	21817
ヨモギ	21818
スギ	21819
ヒノキ	21820
ハンノキ	21821
シラカンバ	21822
コナヒョウヒダニ	21823
ハウスダストI	21824
カンジダ	21825
アルテルナリア	21826
アスペルギルス	21827
ネコ皮膚	21828
イヌ皮膚	21829
小麦	21830
大豆	21831
米	21832

アレルゲン名	子コードNo.
マグロ	21833
サケ	21834
エビ	21835
カニ	21836
ミルク	21837
牛肉	21838
鶏肉	21839
卵白	21840
ソバ	21841
ピーナッツ	21842
オボムコイド	21843
ゴマ	21844
キウイ	21845
バナナ	21846
モモ	21847
トマト	21848
豚肉	21849
ラテックス	21850

● 判定基準

クラス	LC(ルミカウント)	判定
0	0～1.39	陰性
1	1.40～2.77	疑陽性
2	2.78～13.4	陽性
3	13.5～58.0	
4	58.1～119	
5	120～159	
6	160以上	

は今回追加された項目です。

新試薬とCAPシングルアレルゲンおよびMAST-33との比較(クラス)

新規 3 抗原		n=90						
新試薬	6					3	1	
	5				1	3		
	4					6		
	3			4	17	7		
	2		3	12	3			
	1			5				
	0	20	3	2				
	クラス	0	1	2	3	4	5	6
			CAP					

CAP

陽性一致率: 57/64 = 89.1%
陰性一致率: 20/20 = 100.0%
判定一致率: 77/90 = 85.6%

既存 33 抗原		n=1320						
新試薬	6					1	9	
	5					2	1	1
	4				8	9		1
	3			21	28	4		
	2	2	25	79	3			
	1	27	25	7				
	0	1053	13	1				
	クラス	0	1	2	3	4	5	6

従来試薬

従来試薬

陽性一致率: 167 / 175 = 95.4%
陰性一致率: 1053/1082 = 97.3%
判定一致率: 1245/1320 = 94.3%

委託先検討資料

【参考文献】 澤崎 健: アレルギーの臨床 34, 573-580, 2014.